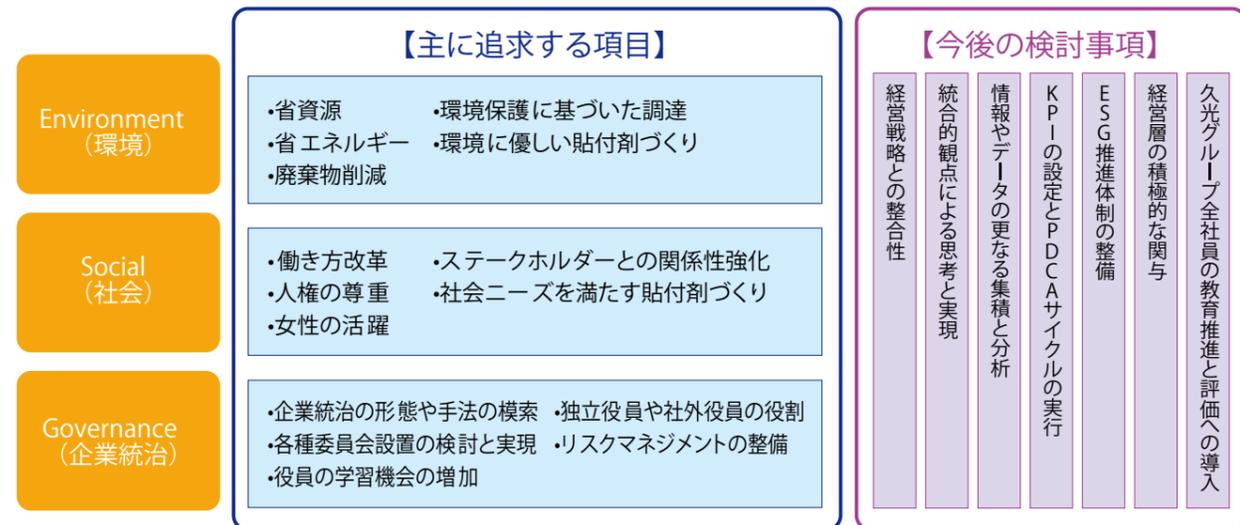


久光製薬グループのESG推進

ESGの推進は、経営理念の実現に向けた基盤として重要な取り組みとなります。環境、社会、企業統治それぞれで取り組むべき内容は、「業務効率化」「人材育成の強化」とも密接にかかわる事項です。「主に追求する項目」として掲げている内容は、企業評価における非財務側面として近年重視されている内容を踏まえ掲げています。

「今後の検討事項」については、これまでのCSR活動を検証し中期経営方針を実現するために早急に整備すべき項目として掲げました。

2018年度には、個別の検討事項について精査を行いました。それぞれで明らかとなった課題に対しては、主管部門が改善策を検討しています。また、それらの課題を統合的に確実性をもって改善を図るため、グループとしてのESG推進体制構築に着手しています。



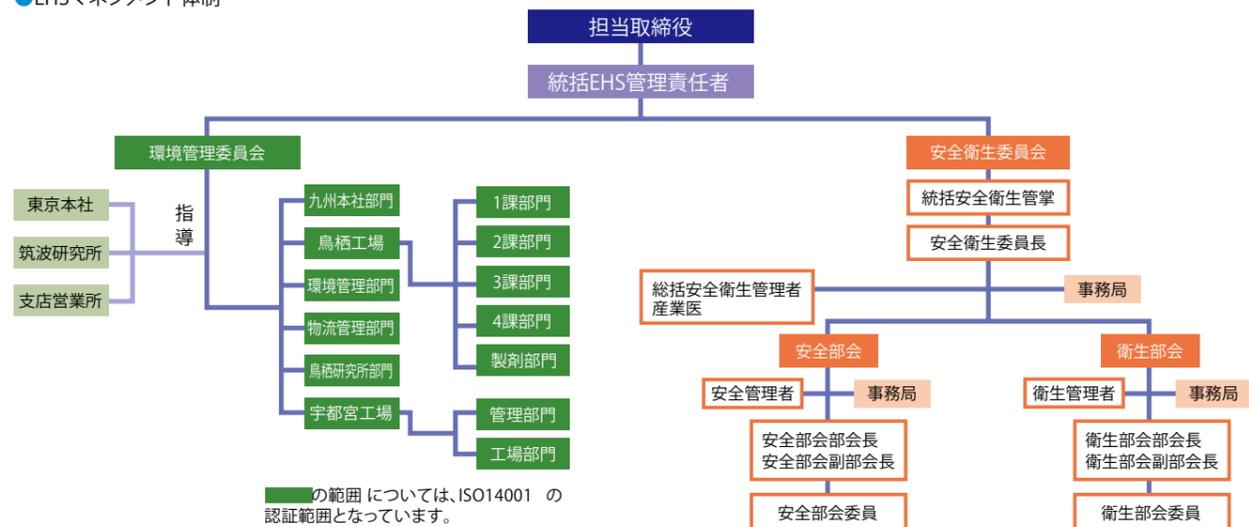
■ 環境管理・労働安全衛生の統合 (EHS[※])

久光製薬は、環境保全、労働安全衛生、保安防災を総合的に推進していくため、既に認証を受けている環境マネジメントシステムISO14001と労働安全衛生に関するマネジメントシステムISO45001の統合認証(2019年12月予定)を目指し、EHSマネジメントシステムを構築していきます。当社は、環境と労働安全衛生を管理するために、それぞれ環境管理委員会および安全衛生委員会を設置しています。これらの委員会を統括管理するため、統括EHS管理責任者を設置しています。

定期的に委員会を開催し中期目標設定および実績報告、リスクと機会の抽出、マネジメントシステムの運用等について協議しEHSの効率的な運用に努めています。

※EHS: Environment, Health and Safety (環境ならびに安全衛生)

● EHSマネジメント体制



コーポレート・ガバナンス

- ガバナンス体制
- 取締役、監査役および執行役員
- コンプライアンス
- 人権
- リスクマネジメント体制